

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【商業／ビジネス基礎】

1. 対象

問いかけに対して発言をする生徒は多くないが、意欲的に取り組む生徒が多い。本単元では、さまざまな代金決済方法の特徴について理解し、最適な決済方法を選択できるようになる。

2. 単元名「第6章ビジネスと売買取引」（全5時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技術	代金決済について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
思考力、判断力、表現力等	代金決済について課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案している。
学びに向かう力、人間性等	代金決済について自ら学び、適切な契約の締結と履行に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

4. 本時の目標

代金決済の仕組みについての知識を活用し、自分ならどの決済方法を選択するか考案できるようになる。

5. 授業展開【 本時 】 ※本時または単元いずれかに○を付けてください。

解決したい課題や問い

- ・今までに学んだ決済方法を含めて、あなたに生活にベストな決済方法はどれですか。

考えるための材料

教科書：キャッシュ決済のそれぞれの説明文や仕組みの図解

プリント：前時までの学習プリント、本時に配布するプリント

スライド：クレジットカード、電子マネー、コード決済の仕組みと特徴のまとめ

想定される活動

- ・キャッシュレス決済のメリットとデメリットについて知り、比較する。
- ・生徒が「私は○○○○を使う（使っている）」と発言がある。
- ・支払金額などにより最適な決済方法を選択できるようになる。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

導入：「キャッシュレス決済」のことで知っていることは？

＊課題の提示

- ・4～5人のグループで、各自が使ってみたい（使っている）キャッシュレス決済方法を共有し、課題に取り組む。
- ・それぞれの代金決済方法の特徴をまとめてみよう。
 - ① 金額によって決済方法は変わるのか？
 - ② それぞれのメリットとデメリットについてまとめる。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

- ・今後の自分の生活において、最適な決済方法について選択することができる。
- ・現金派の人にキャッシュレス決済をはじめてもらうにはどうすれば良いか考えたことを発表する。
「いつも持っているスマホだけで支払いができるので、お財布を持っていなくてもいいから、荷物が少なくて済む」
「キャッシュレス決済を使うとポイントが付くから、ほかの物やサービスに使うことができる。」

